

● 博士課程（後期課程）の修了と学位の取得について

1 修了要件

《2015年度以降生》

- (1) 博士課程に5年（博士課程の前期課程または修士課程の2年を含む。休学期間は「在学」に含まない）以上在学すること。
- (2) 必要な研究指導を受けたうえで、学位論文を提出し、所定の審査および最終試験に合格すること。
- (3) 課程修了の認定にはその研究に必要な外国語に通じていること。
- (4) 修了必要単位数表（履修要項参照）を確認のうえ、必要な単位を10単位以上修得すること。

2 学位の授与

本研究科博士課程（後期課程）を修了した者には、コースにより以下の学位を授与します。

- 公共政策コース、企業政策コース、国際政策コース
博士（政策科学）（同志社大学）
Doctor of Philosophy in Policy and Management
- ソーシャル・イノベーションコース（2014年度以降生）
博士（ソーシャル・イノベーション）（同志社大学）
Doctor of Philosophy in Social Innovation

3 学位授与式

3月および9月に学位授与式を行います。

4 学位論文の保管

製本された博士学位論文は、①同志社大学図書館、②本学の所管部課（学事課）に各1部ずつ保管します。

5 博士学位取得までのプロセス

《2015年度以降生》

【標準研究日程】

※日程等詳細はHPでお知らせします。

年次	学期	内容	日程	
1年次	春	履修科目の登録	4月 (春学期科目登録期間)	
		「特殊研究」の登録 「研究テーマ届」提出締切* ¹	春学期講義第二週目初日	
	秋	研究発表会	3月上旬	
2年次	春	履修科目の登録	4月 (春学期科目登録期間)	
		「特殊研究」の登録 「共同演習」または「ワークショップ演習」の登録		
		「研究テーマ届」提出締切* ¹	春学期講義第二週目初日	
	秋	「博士資格論文概要」提出締切	9月上旬	
		「博士資格論文」提出締切	1月上旬	
		博士資格論文審査会	1月下旬	
博士資格論文審査結果通知		3月中旬		
		「共同演習」(「ワークショップ演習」)結果通知	秋学期 成績通知書 交付日(3月中旬)	
3年次	春	履修科目の登録	4月 (春学期科目登録期間)	
		「研究テーマ届」提出締切* ¹	春学期講義第二週目初日	
	秋	「博士学位論文題目届」提出締切	秋学期講義第二週目初日	
		「博士学位論文題目変更届」提出締切 (希望者のみ)	11月上旬	
		「博士学位論文」提出締切	11月下旬	
		論文提出後		
		博士学位論文審査会	1月中旬まで	
		博士学位論文審査 (研究科委員会)	1月下旬	
		学位論文総合審査 (研究科長会)	3月上旬	
学位論文審査結果通知	3月上旬			
学位授与式	3月中旬			

* 1 春学期休学者は秋学期講義第二週目初日までに提出すること。通年休学の場合は不要。

3年次の秋学期に論文が提出できなかった場合、あるいは審査の結果、不合格となった場合は、次学期の春学期に提出することも可能です。

【2年短期修了 研究日程】

年次	学期	内容	日程	
1年次	春	履修科目の登録	4月 (春学期科目登録期間)	
		「研究テーマ届」提出締切 「短期修了申請書」提出締切* ¹	春学期講義第二週目初日	
	秋	「博士資格論文概要」提出締切	9月上旬	
		「博士資格論文」提出締切	1月上旬	
		博士資格論文審査	1月中旬	
		博士資格論文審査結果通知	3月中旬	
「共同演習」(「ワークショップ演習」)結果通知	秋学期 成績通知書 交付日(3月中旬)			
2年次	春	履修科目の登録	4月 (春学期科目登録期間)	
		「研究テーマ届」提出締切	春学期講義第二週目初日	
	秋	「博士学位論文題目届」提出締切	秋学期講義第二週目初日	
		「博士学位論文題目変更届」提出締切 (希望者のみ)	11月上旬	
		「博士学位論文」提出締切	11月下旬	
		論文提出後		
		博士学位論文審査会	1月中旬まで	
		博士学位論文審査 (研究科委員会)	1月下旬	
		学位論文総合審査 (研究科長会)	3月上旬	
		学位論文審査結果通知	3月上旬	
学位授与式	3月中旬			

* 1 指導教員に相談のうえ短期修了申請書を提出すること。詳細は短期修了に関する要項 (p.11～ p.12)を確認すること。

【1年短期修了 研究日程】*²

年次	学期	内容	日程	
1年次	春	履修科目の登録	4月 (春学期科目登録期間)	
		「研究テーマ届」提出締切 「短期修了申請書」提出締切 * ¹	春学期講義第二週目初日	
	秋	「博士学位論文題目届」提出締切	秋学期講義第二週目初日	
		「博士学位論文題目変更届」提出締切 (希望者のみ)	11月上旬	
		「博士学位論文」提出締切	11月下旬	
		論文提出後		
		博士学位論文審査会	1月中旬まで	
		博士学位論文審査 (研究科委員会)	1月下旬	
		学位論文総合審査 (研究科長会)	3月上旬	
		学位論文審査結果通知	3月上旬	
学位授与式	3月中旬			

* 1 指導教員に相談のうえ短期修了申請書を提出すること。詳細は短期修了に関する要項 (p.11～ p.12)を確認すること。

* 2 入学時において、公刊された単著の研究書 (学会誌等の書評で一定の評価を得たものであること)、また全国学会誌に掲載された複数の査読付論文を有するなど特に優れた研究業績をあげた者については、1年で修了することを認める場合がある。

● 一貫制博士課程の修了と学位の取得について

1 修了要件

《2016年度以降生》

- (1) 一貫制博士課程に原則として5年（転入学生は3年、休学期間は「在学」に含まない）以上在学すること。
- (2) 履修方法に従い、修了に必要な30単位以上を修得し中間評価論文に合格すること。
- (3) 必要な研究指導を受けたうえで、学位論文を提出し、所定の審査および最終試験に合格すること。
- (4) 課程修了の認定にはその研究に必要な外国語に通じていること。

《2015年度以前生》

- (1) 一貫制博士課程に原則として5年（転入学生は3年、休学期間は「在学」に含まない）以上在学すること。
- (2) 履修方法に従い、修了に必要な38単位以上を修得し中間評価論文に合格すること。
- (3) 必要な研究指導を受けたうえで、学位論文を提出し、所定の審査および最終試験に合格すること。
- (4) 課程修了の認定にはその研究に必要な外国語に通じていること。

2 学位の授与

本研究科一貫制博士課程を修了した者には、以下の学位を授与します。

博士（技術・革新的経営）（同志社大学）

Doctor of Philosophy in Technology and Innovative Management

特別な場合を除いて修士学位の授与はありませんが、退学する際に修士学位の授与を希望する場合は、中間評価論文提出締切日までに指導教員及び本研究科事務室に必ず相談してください。

3 学位授与式

3月および9月に学位授与式を行います。

4 学位論文の保管

製本された博士学位論文は、①同志社大学図書館、②本学の所管部課（学事課）に各1部ずつ保管します。

5 中間評価論文提出資格と要件

(1) 提出資格

《2016年度以降生》

一貫制博士課程に2年以上在学し、修了に必要な30単位を修得している者。

《2015年度以前生》

一貫制博士課程に2年以上在学し、修了に必要な38単位を修得している者。

提出年度に必ず「中間評価論文」を登録すること。

(2) 提出要件

「中間評価論文題目届」を所定の期日までに提出すること。

6 博士学位取得までのプロセス

《2012年度以降生》

【標準研究日程】

※日程等詳細はHPでお知らせします。

	年次	学期	内容	日程
課 程 前 半	1年次	春	基礎科目Ⅰ、Ⅱ、展開科目、セオリーアンドプラクティスを登録	4月 (春学期科目登録期間)
		秋	基礎科目Ⅰ、Ⅱ、展開科目、セオリーアンドプラクティスを登録	9月 (秋学期科目登録期間)
	2年次	春	「中間評価論文」を登録	4月 (春学期科目登録期間)
			基礎科目Ⅰ、Ⅱ、展開科目、セオリーアンドプラクティスを登録	4月 (春学期科目登録期間)
		秋	「中間評価論文題目届」提出締切	秋学期講義第二週目初日
			「中間評価論文題目変更届」提出締切	11月上旬
			「中間評価論文」提出締切	1月上旬
			論文提出後	
	審査会	2月中旬		
	審査(研究科委員会)	2月下旬		
課 程 後 半	3年次	春	履修科目の登録	4月 (春学期科目登録期間)
			「研究テーマ届」提出締切*1	春学期講義第二週目初日
		秋	研究発表会	3月上旬
	4年次	春	履修科目の登録	4月 (春学期科目登録期間)
			「研究テーマ届」提出締切*1	春学期講義第二週目初日
		秋	「博士資格論文」提出締切	11月下旬
			博士資格論文審査	1月下旬
			博士資格論文審査結果通知	3月中旬
	5年次	春	履修科目の登録	4月 (春学期科目登録期間)
			「研究テーマ届」提出締切*1	春学期講義第二週目初日
		秋	「博士学位論文題目届」提出締切	秋学期講義第二週目初日
			「博士学位論文題目変更届」提出締切(希望者のみ)	11月上旬
			「博士学位論文」提出締切	11月下旬
			論文提出後	
博士学位論文審査会			1月中旬まで	
博士学位論文審査(研究科委員会)			1月下旬	
		学位論文総合審査(研究科長会)	3月上旬	
		学位論文審査結果通知	3月上旬	
		学位授与式	3月中旬	

*1 春学期休学者は秋学期講義第二週目初日までに提出すること。通年休学の場合は不要。

博士課程
(後期課程)
一貫制博士課程

博士学位論文提出パターン

	在学中に論文を提出する場合	
	3月学位授与 (標準修了)	9月学位授与 (半年遅れ)
9月		
10月	・題目届提出	
11月	・題目変更届 ・論文提出	
12月		
1月	・学位論文審査会	
2月		
3月	・課程修了 ・学位授与	
4月		・題目届提出
5月		・題目変更届 ・論文提出
6月		
7月		・学位論文審査会
8月		
9月		・課程修了・学位授与
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

	3年以上在学し、論文提出後に退学する場合	
	春学期論文審査 (半年遅れ)	秋学期論文審査 (1年遅れ)
9月		
10月	・題目届提出	
11月	・題目変更届	
12月		
1月		
2月	・論文提出	
3月	・退学届提出 ・退学	
4月		・題目届提出
5月		・題目変更届
6月		
7月	・学位論文審査会	
8月		・論文提出
9月	・学位授与 ※退学日を学位授与日として課程修了	・退学届提出 ・退学
10月		
11月		
12月		
1月		・学位論文審査会
2月		
3月		・学位授与 ※退学日を学位授与日として課程修了

◆以下の「論文審査在籍」は、2016年度以降生で所定の研究指導を終えた者に限る(※在学年限滿了者は対象外)

	3年以上在学し(一貫制は5年)、 翌学期から論文審査在籍の適用を受ける場合	
	春学期適用 (半年遅れ)	秋学期適用 (1年遅れ)
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月	・題目届提出 ・論文提出 ・論文審査在籍申請 (論文審査在籍料60,000円納入)	
3月		
4月		
5月		
6月		
7月	・学位論文審査会	
8月		・題目届提出 ・論文提出 ・論文審査在籍申請 (論文審査在籍料60,000円納入)
9月	・課程修了 ・学位授与	
10月		
11月		
12月		
1月		・学位論文審査会
2月		
3月		・課程修了 ・学位授与

	3年以上在学し(一貫制は5年)、退学後、 論文審査在籍の適用を受ける場合(退学日から3年以内に限る)	
	春学期適用	秋学期適用
9月		
10月		
11月		
12月		
1月	・題目届提出 ・論文提出 ・再入学願提出 ・論文審査在籍申請 (論文審査在籍料60,000円納入)	
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		・題目届提出 ・論文提出 ・再入学願提出 ・論文審査在籍申請 (論文審査在籍料60,000円納入)
7月	・学位論文審査会	
8月		
9月	・課程修了 ・学位授与	
10月		
11月		
12月		
1月		・学位論文審査会
2月		
3月		・課程修了 ・学位授与

【上記以外の選択肢】

2015年度以前生(所定の研究指導を終えている場合)

- ・退学日から3年以内に論文を提出(学位審査手数料25,000円)…学位の種類:甲(課程修了ではなく、最終学籍は退学)
- ・退学日から5年以内に再入学して論文を提出(再入学金・学費が必要)…学位の種類:甲(課程修了)
- ・退学日から3年を超えて再入学をせずに論文を提出(学位審査手数料150,000円)…学位の種類:乙(論文博士)

2016年度以降生(所定の研究指導を終えている場合)

- ・再入学せずに論文を提出
 - 退学日から3年以内(学位審査手数料25,000円)…学位の種類:乙(論文博士)
 - 退学日から3年経過(学位審査手数料150,000円)…学位の種類:乙(論文博士)
- ・退学日から3年を超えて5年以内に再入学して論文を提出(再入学金・学費が必要)…学位の種類:甲(課程修了)

◆所定の研究指導を終えていない場合

- ・論文博士(学位審査手数料150,000円)
- ・退学日から5年以内に再入学し、課程修了(再入学金・学費が必要)
- ・所定の研究指導とは、標準修業年限3年(一貫制の場合5年)を経て、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けたもの

★論文博士での提出については、必ず事前に事務室までお問い合わせください

博士学位論文提出等に関する申合せ

同志社大学大学院総合政策科学研究科における博士学位論文の提出ならびに提出後の修正等に関する事項について、以下のとおり申合せ。

(論文提出)

- 1 博士学位論文（以下、論文という）は、本学ならびに本研究科が別に定める要領に従って作成し、本研究科が別に定める期限までに本研究科事務室へ提出しなければならない。

(論文題目)

- 2 論文の題目は、本研究科へ届出済の「博士学位論文題目届」に記載の題目と同一でなければならない。従って博士学位論文題目届と異なる題目の論文は受理しない。なお、「博士学位論文題目変更届」は別に定める期限以降に届け出ることにはできない。

(審査要件)

- 3 論文および必要な書類等が別に定める期限までに提出されない場合、または提出された論文が要領から明らかに逸脱していると本研究科が認めた場合は、博士学位の申請を不受理とし、審査料を含む提出書類一式を返却する。

(論文修正)

- 4 審査会・総合試験、研究科委員会での審査の過程において論文に対して誤字等の修正指示があった場合に限り本研究科が定める期限までに修正を完了し、修正済の論文を本研究科事務室へ再提出しなければならない。

別に定める期限までに論文が再提出されない場合は、修正指示を取り消して従前の論文により審査を行うものとし、学位を取得した場合に必要なインターネットを利用した論文全文の公表についても従前の論文によるものとする。

(修正期限)

- 5 本研究科委員会での審査完了後に本研究科長が指示する期限以降の修正は、一切認めない。

(学位取消等)

- 6 前記5の修正期限以降に本研究科に無断で論文を修正した場合、所定の手続きを経て博士学位授与の取り消しを行うことがある。

付 則

本申合せは、2021年4月1日から施行する。

博士論文審査基準

(1) 趣旨

「同志社大学大学院総合政策科学研究科は、同志社大学大学院学則第6条の9第2項に基づき、博士學位論文に係る評価の客観性及び厳格性を確保するため、あらかじめ明示した基準にしたがって審査を適切に行うものとする。」

(2) 審査基準

博士學位論文の審査に当たっては、大学院学則を踏まえ、次に掲げる各基準を総合的に評価し、博士學位論文としての水準に達していることを必要とする。

①内容的要件

・研究テーマの妥当性

- 1) 研究目的とその必要性、学術的・社会的意義を明確に述べているか
- 2) 当該テーマの研究意義および独自性、進歩性、有用性等を説得的に明示しているか

・研究方法の妥当性

- 1) 先行業績の研究成果について幅広く十分に調査し、その知見を前提として議論を展開しているか
- 2) 研究テーマおよび問題設定に対して適切な研究方法を選択しているか

・独創性（オリジナリティ）

- 1) 研究テーマおよび問題設定、分析方法、結論等に注目すべき独創性が認められるか
- 2) 当該テーマに関する従来の研究に対して、独自の新たな知見を提示しているか

・学際性・総合性

- 1) 研究テーマおよび問題設定、分析方法、結論等において学際性及び総合性が認められるか

・結論、結果の適切性、明確性

- 1) 結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導出されているか
- 2) 結論に至る議論の展開が十分な論拠に支えられているか。また、結果に対する考察は適切か

・社会、学界等への貢献、将来的発展性

- 1) 社会、学界への貢献が期待されるか
- 2) 当該研究の今後の発展、可能性を示しているか

②形式的要件

・規定字数、枚数の要件を満たしているか。

・論文構成、文献の引用方法、注・図表・資料・参考文献リストの取扱いが適切になされているか。

「同志社大学大学院学則」第7条第4項に基づき、外国語文献の引用及び参考文献としての掲示が適切になされているか。

(参考資料)

「同志社大学大学院学則」

第7条 博士の学位を得ようとする者は、大学院博士課程に5年（博士課程の前期課程又は修士課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けたうえ、学位論文を提出し、かつ最終試験に合格しなければならない。最終試験は学位論文を中心とし、これに関連ある分野について行う。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績をあげた者については、3年（博士課程の前期課程2年又は修士課程2年を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、優れた業績により博士課程の前期課程又は修士課程を在学1年以上で修了した者の在学期間に関しては、博士課程の前期課程又は修士課程における在学期間に3年を加えた期間とする。ただし、優れた研究業績をあげた者については、3年（博士課程の前期課程又は修士課程における在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第156条の規定により、修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者又は専門職学位課程を修了した者については、3年（専門職大学院設置基準第18条第1項の法科大学院の課程を修了した者にあつては、2年）以上在学し、必要な研究指導を受けたうえ、学位論文を提出し、かつ最終試験に合格しなければならない。最終試験は学位論文を中心とし、これに関連ある分野について行う。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績をあげた者については、1年（標準修業年限が1年以上2年未満の専門職学位課程を修了した者にあつては、3年から当該1年以上2年未満の期間を減じた期間）以上在学すれば足りるものとする。

4 前3項の課程修了の認定には、その研究に必要な外国語によく通じていることを一条件とする。

博士学位論文の公表

博士学位論文の公表（学位規程第13条、博士論文のインターネット公表に関する取扱要領）を基に、総合政策科学研究科においては以下の通りとする。

(1) 博士論文要旨および博士論文審査結果の要旨公表について

本学は、博士論文について、その論文要旨、論文審査要旨、総合試験結果の要旨（論文博士の場合は学力確認結果の要旨）を、学位授与日から3ヶ月以内に同志社大学学術リポジトリにおいて公表する。

(2) 博士論文全文の公表について

①博士論文の全文の公表

博士の学位を授与された者は、博士論文全文について、学位授与日から1年以内に同志社大学学術リポジトリにおいて公表しなければならない。ただし、博士学位を授与される前に既に公表した場合は、この限りでない。

②博士論文の内容を要約したものの公表

博士の学位を授与された者が、全文を公表することができないやむを得ない事由があると申し出、研究科委員会が承認した場合は、博士論文全文に代えてその内容を要約したものを、同志社大学学術リポジトリにおいて公表しなければならない。この場合においても、本学は、当該博士論文の全文を図書館において閲覧に供する。

③やむを得ない事由について

- ・博士論文に立体形状による表現を含む場合
- ・著作権保護や個人情報保護に係る制約がある場合
- ・出版による公表又は公表を予定している場合
- ・特許を申請又は申請を予定している場合
- ・掲載ジャーナルからの制約がある場合
- ・その他、研究科教授会または研究科委員会が認めた場合

④国立国会図書館へのデータ送付および利用

同志社大学学術リポジトリにおいて公表された博士論文については、当該博士論文に係る電子データを国立国会図書館に送付するとともに、同館においてインターネットを利用して公開される。

(3) 博士論文公表に係る提出書類・電子データおよび提出数

提出物	【提出形式】	提出数	全文公開する場合	全文非公開とする場合
(1) 同志社大学博士論文のインターネット公開同意書(様式所定)	【様式所定の紙】	1部	○	○
(2) 論文全文	【電子データ】 例) 甲 xxx_全文.pdf	1ファイル (CD-RW)	○	○ ^{*1}
(3) 学術リポジトリ内容記述シート(様式所定)	【電子データ】 例) 甲 xxx_内容記述.xls	1ファイル (CD-RW)	○	○
(4) 論文の要約(様式所定)	【電子データ】 例) 甲 xxx_要約.pdf	1ファイル (CD-RW)	×	○ ^{*2}

※1 国会図書館提出用

※2 学術リポジトリ登録用(総合政策科学研究科では10,000字程度とします)

(4) 手続き

上記書類・電子データを総合政策科学研究科事務室に提出すること。

(5) 注意事項

①博士論文全文(電子データ)について

- ・論文の全内容を1つのファイルにまとめること(学術リポジトリの公開や国立国会図書館からのデータ収集の関係上、提出後にファイルを分割する場合がある)。また1枚のCD-RWに上記、電子データを格納すること。なお、提出されたCD-RWは、返却しない。
- ・ファイル形式はテキスト情報付きのPDFとすること。ファイル名については、学位記番号をファイル名にして作成すること。
例) 甲001_全文.pdf 甲001_要約.pdf
- ・フォーマットはPDFバージョン1.5以上とすること。
- ・外部情報源(外部フォント等)を参照していないこと。
- ・PDFファイルにはパスワードや暗号化、印刷制限等の設定をおこなわないこと。
- ・CD-RWの表面に氏名と学位記番号を油性ペンで記入のこと。
- ・提出時の詳細は学術リポジトリホームページ[リポジトリへの登録手続き]を参照のこと。

②やむを得ない事由に該当する「出版による公表又は公表を予定している場合」の図書は**単著**に限る。

③同志社大学博士論文のインターネット公開同意書について

- ・公開にあたっては、論文内に引用されている資料等について、インターネットの利用による公表を前提とした著作権処理をおこなうこと。
- ・「やむを得ない事由」がなくなった場合は、速やかに総合政策科学研究科事務室へ申し出のうえ、博士論文全文を公表すること。

④学術リポジトリ内容記述シートについて

- ・提出ファイルおよび書き方は、学術リポジトリホームページ[リポジトリへの登録手続き]内の「内容記述シートの記入例(学位論文)」を参照のこと。
- ・内容記述シートのファイル名は、学位記番号をファイル名にして作成すること。
例) 甲001_内容記述.xls